春季彼岸会・春の永代経法要

法要後、 堂にて、午前口時から「春季彼岸会・ ついてお話ししました。 て永代経法要をお勤めしています。 沖縄別院では春秋の彼岸にあわせ 春の永代経法要」を修行しました。 中岡順忍輪番から彼岸に

沖縄特区全戦没者追悼法要

春季彼岸会·全戦没者追悼法要

追悼法要」を修行しました。 沖縄戦〜知られざる悲しみの記憶 〜』を上映し、「沖縄特区全戦没者 続いて、映画『ドキュメンタリ 沖縄特区御同朋の社会をめざ

戦終戦後、

帰50年を迎えます。

日 また、 月 には啓発活動として、 3月24日 (木) 沖

(4)

3月21日(月·祝)沖縄別院本

中岡所長から 追悼法要の後、

映画『ドキュメンタリー沖縄戦』を視聴する参拝の皆さ

ちは、 という悲惨な出来事を振り返り くすのは難しいことですが、 が犠牲となっています。 の軍事侵攻に踏み切り、 ナでは子どもを含めた多くの人 現在、ロシア連邦がウクライナ しなくてはなり 今何をすべきかを考え、 ません。 争 沖縄戦 ウクラ いをな 私た 行

非戦平和

生徒が作成した平和への思いを込 縄別院納骨堂で、 セージ展」を開催しています。 めた作品「児童・生徒の平和 非戦平和についてのお話 沖縄県内の児童 ツ

動委員会委員長である中岡所長か 「今年は戦後77年、

このような過ちを二度と繰り返し

米国の支配下にありました。 27年間もの間沖縄県は 沖縄特区実践運 第2次世界大 沖縄県本土復

話がありました。 会の実現を目指しましょう」 に心豊かに生きることのできる社 てはならないと心に誓 自他共 とお



毎年、

沖縄特区全戦没者

その取り組み

発行人 中 〒 900-0005

沖縄県那覇市天久 2-18-2 電 話 (098) 860-7009 ファックス (098) 860-7469 mail ameku2182@yahoo.co.jp

慶讃法要の団参二次日程決まる。今和5年4月3日 縄県宗務推進会議開催

第3回

神

針を次のように述べました。 縄県宗務推進会議を開催しました。 2021 法要・行事は令和4年度も感染症 4年度沖縄県宗務特別区執務方 3月9日 (水) はじめに、 (令和3) 年度第3回沖 中岡順忍所長から令 午後7時から、 「各種 研

今年度の特区執務方針に ついて述べる中岡所長

沖縄別院での法要修行計画を進め 団体参拝の諸準備とともに、

対策を講じて取り組む。 『門徒推進員養成連続研修会』(連 現委員にご依頼し、 践運動)委員会の委員は引き続き 『御同朋の社会をめざす運動』(実 教開宗800年慶讃法要』につ 縄特区門徒総代会の結成に取り組 を設け推進する。 を今年度に企画している。 『親鸞聖人御誕生850年・ 第3期沖縄特区 各専門部会等 沖縄特区 沖 立

> るため、 かる」。 る。 今年は沖縄開教50周年にあ 記念事業の準備に取り

か た

絡をし、 賛成多数にて全議案が可決されま 案の予算案及び予算補正案を説明。 した。 説明を行い、 続いて中岡所長は上程議案の また、 閉会となりました。 事務局が財務議決議 以下のとおり事務連

①親鸞聖人御誕生850年・立教 開宗800年慶讃法要について 沖縄特区団体参拝の割り当ては

(A)令和5年4月3日 光玅寺布教所 【20名】净光寺、 浄願寺、 (月) 午後 中道寺、

左記のように決定しました。

B令和5年4月27日(木)午前 て各寺院・布教所にご案内します。 沖縄別院 団参の二次募集については追 【30名】真常寺、 平成寺、 法谷寺

また、



②沖縄開教5周年記念事業準備委 つ いてご協力をお願い しました。

員会の設置について

区全体で取り組みます 50周年記念事業準備委員会」(仮 称)を設置します。記念事業として、 50周年を迎えるため、 法要の修行や記念冊子の作製に特 また沖縄開教事務所が設置されて 今年は沖縄県本土復帰50周年 「沖縄開教



篤信な門信徒からの寄贈



を開催しました。まん延防止等重点措置が解除 おいて沖縄特区布教団主催「第2回僧侶研修会」 3月12日 (土) 当初の予定どおり開催できました。 午後7時、 沖縄別院本堂に

七高僧についてご講義いただきました。 真宗の源流~正信念佛偈のこころ~」と題して 賀教区滋賀組福田寺衆徒)をお招きし、「浄土 講師には佐々木義英師(本願寺派司教・滋

佐々木義英師七高僧を詳説 僧侶研修会、 常例法座



(2)

導大師、 ちや、 そして後半は道綽禅師、善 像データを映し、 大型モニターにつないで画 樹菩薩、天親菩薩、曇鸞大師 解説されました。 人の順にそれぞれの生い立 講師はノー 出身地などについて 源信和尚、 トパソコンを 前半は龍 源空上

> 通して、 私たちにあります」 僧を通して、 そ、釈尊を通して、 の後押しがあったからこ 信偈をつないでゆく役割 いています。その先に正 に阿弥陀さまのお心が届 バトンを受け取った 今現在の私たち 親鸞聖人を 七高

さんは楽しそうに聴聞されていました。 法座」にも佐々木師をお招きし、 エピソードなども交えて話され、 いて詳しくお話しされました。 ただきました。前日に続いて、 翌13日(日)午前10時の 「沖縄別院常例

多くのご参拝をいただくことができました。 法座に県外の講師が来られることは少なく きました」などの声が聞かれました。 とができました」「海外調査の話に興味が湧 会場からは「七高僧についてよく知るこ

めくくられまし 最後に「阿弥陀さま

海外調査の 七高僧につ ご法話い 参拝の皆

宗祖と蓮如上人の御影を奉 阿弥陀さまの両脇に

等重点措置のため、 毎年3月第3日曜に修行しますが、 修行しました。久米島の報恩講は 変更しました。また、まん延防止 今年は春彼岸と重なるため2月に 米島布教所本堂にて報恩講法要を 曜学校は中止し、 2月2日(日)午後7時から久 予定していた 法要は関係者

中央に御本尊を、 弥陀如来の御絵像が奉懸されてい 久米島布教所本堂には、中央に阿 たは蓮如上人御影を奉懸しますが、 は先師御影(先師上人の御影)ま 宗祖御影(親鸞聖人の御影)、左に るのみでした。 さて、 一般寺院の本堂内陣には、 向かって右には

と蓮如上人の絵像 があり、親鸞聖人

番から、「報恩講は 法要が修行されま を奉懸させていた 恩に報いる講と書 清新な空気のなか だくこととなり 法要後、 中岡輪

納骨堂総追悼法要

懸

旧暦— 10時と午後2時に、 久米島布教所では正午に修行しま を2月16日(水)、沖縄別院は午前 御命日法要と併修しました。 した。沖縄別院の法要は親鸞聖人 十六日祭は沖縄の伝統行事で 納骨堂総追悼法要(十六日祭)ジュールクニチー 月16日にお墓参り 天久礼拝所と 先人

きます。 ことを私にお示しくださった親鸞 常に私の側にいる、 聖人を偲ばせてい まです。この私を決して見捨てず とお話しました。 に寄り添ってくださいます。 に気づかせてくださったのが仏さ て生活しています。そのことを私 人で生きているのではなく、 人や物の様々なご縁に支えられ 私という人間は決して一 ただきましょう」 必ず救うと私 多く その

> 追悼法要は、 と共に新年を祝います。 いただく法要です。 人を追悼し、 十六日祭をご縁に故 仏さまに感謝させて 納骨堂総

だけると思います」とお話しました。 仏と称えてください。そばにいて は、 くださる阿弥陀さまを感じていた にいてくださいます。 きたいものです。 法要で中岡輪番は「阿弥陀さま 阿弥陀さま、先人の方々のご縁 いつでも、どこでも私のそば 念仏申す 人生を歩んで 南無阿弥陀



をおこない、ご参拝いただいた